

‘元氣るんるん’は湯田小学校のほけんだよりです。

2024年(令和6年)6月18日
福山市立湯田小学校

元氣るんるん



アメリカの先住民は、季節がわかるように、各月の満月に名前をつけて呼んでいたと言われています。6月の満月は、イチゴの収穫がピークをむかえ、月が赤く見えることが多いので「ストロベリームーン」。北半球では、6月の夏至に近い満月は、高度が低く、月の出や入りのときは、地平線の近くにあるため、太陽の朝焼けや夕焼けのように、赤っぽく見える場合があるそうです。

ヨーロッパでは、「ローズムーン」や「ハニームーン」と呼ばれたりするようですが、国や地域によっていろいろな名前があるのもおもしろいです。名前をつけるということは、先人たちが、季節の変化や自然とのつながりを強く意識し、感じ取っていたからかもしれません。私たち人間は、自然とは切っても切れない関係ですが、今、そのことを考えている人はどれくらいいるでしょうか？今年の「ストロベリームーン」は6月22日(土)です。別名「恋をかなえてくれる月」とも呼ばれています。大切な人とながめて見てはいかががでしょう？



6月の健康目標 < 歯を大切にしよう！ >

保健室物語



…ある日の保健室。
Aくんが頭を打ったので、冷やしながら保健室で様子をみることにしました。
Aくんも最初は静かにしていましたが、どんどん元氣になり、ひと安心！
「これなら、歩いて帰れそうだね。家は近いの？」
と聞いたら、
「ぶち近いよ。」
と言うので、
「どれくらい近いの？」



と聞いたら、
「3センチ！」
「ナンデスト？3センチとは、近すぎませんか？ぶちぶちぶちぶち近すぎるう。」
3センチってこれくらいよ、指で見せると、Aくんは、
「じゃあ、9センチ！」
その後も10センチ、20センチ…と続きましたが、なんだかマイクロな生き物になったみたいいい～。とてもシュールでフシギな世界！Aくんすごすぎますう。

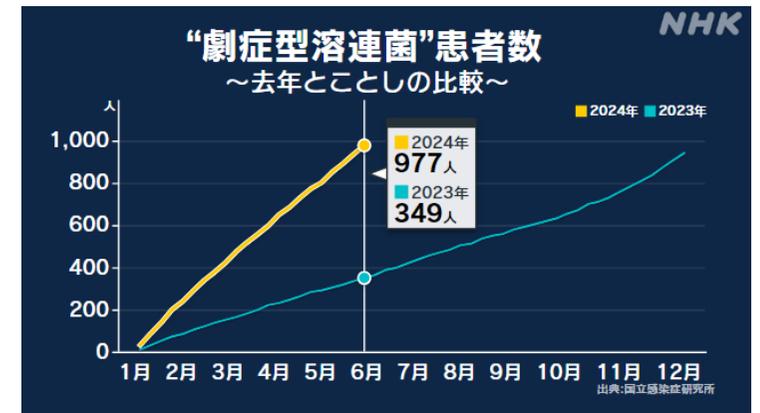
体調不良の児童が増えています！



湯田小学校では、現在、特定の感染症が流行しているわけではありませんが、熱や腹痛、嘔吐、体調不良などで欠席したり、早退する児童が増えています。
朝晩と昼間の温度差や、天候によっては暑い日もあれば、肌寒い日もあったりするので、体も疲れやすく、体調をくずしやすくなっています。
衣服の調節をしたり、いつもより早めに寝たりして体を休めるようにしましょう。

「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」 今年患者数 過去最多に！

致死率が約3割ともいわれる「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が、今年過去最多のペースで急拡大しています。手足の壊死(細胞が壊れて死ぬ)や多臓器不全を引き起こし、ショック症状から死に至ることもあり「人食いバクテリア」とも呼ばれています。
この感染症にかかるのは30代以上の人が多いとされていますが、まれに



小児の感染例も報告されているので、あらゆる世代で注意が必要です。
武見厚生労働大臣は、「劇症型溶血性レンサ球菌感染症については、日本だけでなく諸外国でも増加傾向にあり、引き続き感染動向を注視していく必要性があると思っている。手洗いや咳エチケット、傷口の清潔な処置などの基本的な感染防止対策を実施してほしい」と述べています。

熱中症の夏、「ペットボトル症候群」に気をつけよう！

一般的なスポーツドリンク500mlのなかには約30~40g(角砂糖8~12個分相当)の糖が含まれています。WHO(世界保健機関)では、1日に摂取する砂糖の量は25gまでとしています。毎日、一気に、たくさん飲んでいると、「のどが異常にかわく」「尿が多量に出る」「吐き気がする」「体がだるい」等、糖の過剰摂取による「ペットボトル症候群」と呼ばれる症状が起きることがあります。スポーツドリンクは、運動のときや、発熱や嘔吐等で食事が摂れないときに飲むのが良いでしょう。

